

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で3,600cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で25,000cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモイは鳴無、中学校前、目ノクソ及び大鹿で漁業被害が想定される密度を超えていました。

今後も増殖・拡大が想定されますので、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモイ	ヘテロシグマ・アカシオ
鳴無	0.5m	2,800	0
中学校前	0m	500	0
	2m	1,750	350
	5m	120	0
目ノクソ	2m	3,600	3,500
	5m	2,500	300
	7m	550	550
光松	0m	0	1,100
	2m	8	1,000
	5m	700	0
大鹿	0m	0	1,500
	2m	2,500	200
	5m	500	0
水試小割前	0m	0	0
	2m	800	0
	5m	170	100
着色部	0m	3,000	25,000

漁業被害が想定される細胞密度
 ・カレニア・ミキモイ：
 数百～数千cells/ml(魚類のへい死)
 ・ヘテロシグマ・アカシオ：
 50,000～cells/ml(魚類等のへい死)

